

岡地株式会社

2022年3月期
〔 2021年4月 1日から
2022年3月31日まで 〕

1. 会社の概況

① 商号、許可年月日等

商号又は名称 岡地株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岡地 和道
 所在地 東京都中央区日本橋小網町12番5号

許可年月日 平成29年1月1日

加入協会名 日本商品先物取引協会
 日本商品委託者保護基金

会社の沿革

年 月	概 要
昭和26年 2月	愛知県名古屋市中区下園町(現：中区錦)に岡地貞一商店を設立し、名古屋繊維取引所商品仲買人(現：商品先物取引業者)として事業を開始
昭和27年 5月	岡地貞一商店を岡地株式会社に改組、資本金6百万円
昭和28年 4月	本店を愛知県名古屋市中区南伊勢町(現：中区栄)に移転
昭和31年 5月	資本金を1千万円に増資
昭和34年 4月	東京営業所(旧：東京支店)設置
5月	東京繊維商品(現：東京商品)取引所加入
昭和35年 2月	大阪営業所(現：大阪支店)設置
12月	神戸生糸(現：堂島)取引所加入
昭和36年 2月	本社旧社屋落成
昭和37年 8月	資本金を5千万円に増資
昭和42年 9月	資本金を1億円に増資
昭和44年 6月	シドニー脂付羊毛先物取引所加入
昭和46年 1月	昭和42年の法改正による登録制から許可制への移行に伴い、農林大臣(現：農林水産大臣)及び通商産業大臣(現：経済産業大臣)から商品取引員(現：商品先物取引業者)の許可を取得
6月	東京ゴム(現：東京商品)取引所に加入
昭和48年 4月	本社(旧：名古屋)新社屋落成
昭和51年 2月	資本金を5億円に増資
昭和54年 8月	昭和50年の法改正による商品取引員の許可更新制度の導入に伴い、商品取引員(現：商品先物取引業者)の許可を更新(以後4年毎に更新)
昭和55年 8月	100%子会社OKACHI (HONG KONG) CO., LTD. を設立し、香港商品取引所会員を取得現地金融先物取引への顧客の開拓を開始
昭和56年 5月	資本金を8億円に増資
昭和57年 3月	東京金(現：東京商品)取引所に加入
昭和58年 3月	東京支店(現：本店)新社屋落成
昭和59年 5月	資本金を8億8千万円に増資

年 月	概 要
昭和62年 3月	大阪支店新社屋落成
4月	100%海外子会社OKACHI INVESTMENT (HONG KONG) CO., LTD. (香港)を設立し、香港証券取引所会員を取得。現地証券取引への顧客の開拓を開始
平成 3年 8月	平成2年の法改正による第一種・第二種の区分許可制の導入に伴い、第一種商品取引受託業者（現：商品先物取引業者）として許可を更新（以後6年毎に更新）
平成 4年 7月	資本金を10億円に増資
平成10年 5月	海外先物取引取次ぎ業務を開始
平成16年10月	インターネット商品先物取引開始
平成22年12月	商品先物取引法の改正に伴い、商品先物取引業者として許可を取得
平成29年 1月	商品先物取引業者としての許可を更新（6年間）
令和 2年 4月	第一種金融商品取引業者として登録
令和 3年 7月	本店を東京に移転

(注) 昭和59年以前の増資に関しては一部省略して標記しております。

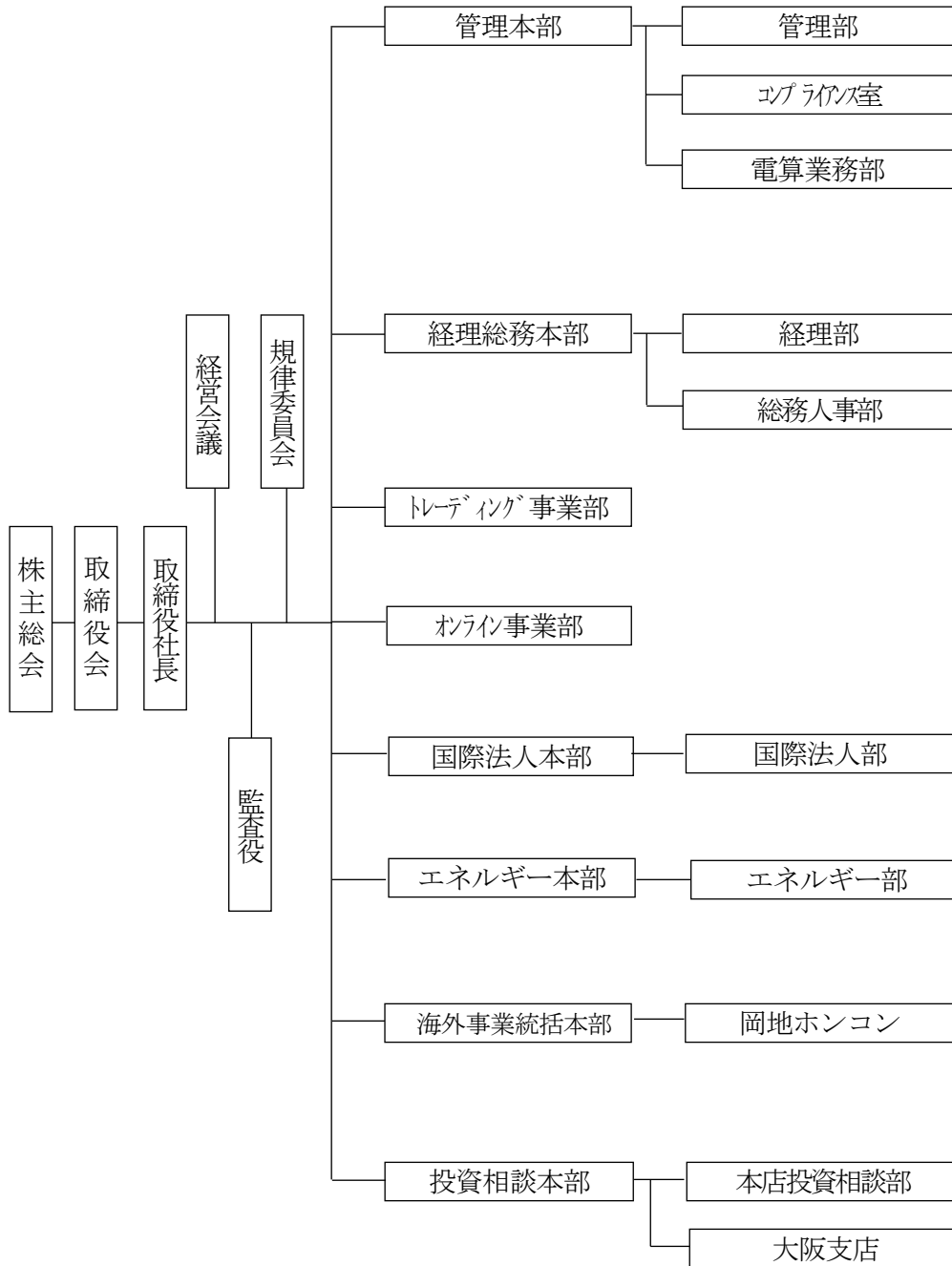
② 事業の内容

国内商品市場における取引の受託

外国商品市場取引の取次ぎ

(1) 経営組織

当社の経営組織の概要は、次のとおりです。（2022年3月31日現在）



(2) 業務の内容

(a) 商品先物取引業（2022年3月31日現在）

イ. 国内商品市場取引に係る業務

当社は商品先物取引法第190条第1項に基づき、農林水産大臣及び経済産業大臣から商品先物取引業の許可を得た商品先物取引業者であり、国内商品市場における先物取引の受託業務を行っております。なお、当社で取引できる主な商品は以下のとおりです。

取引所名	当社における取扱商品	
(株)東京商品取引所	エネルギー	ガソリン、灯油、軽油、原油、電力
	中京石油	ガソリン、灯油
(株)堂島取引所	農産物	とうもろこし、米国産大豆、小豆
	砂糖	粗糖

ロ. 外国商品市場取引に係る業務

当社は商品先物取引法第190条第1項に基づき、農林水産大臣及び経済産業大臣から商品先物取引業の許可を得た商品先物取引業者であり、外国商品市場における先物取引の取次業務を行っております。なお、当社で取引できる主な商品は以下のとおりです。

取引所名	当社における主な取扱可能商品
Chicago Board of Trade (CBOT : CME Group)	大豆、大豆油、大豆粕、コーン、小麦
New York Mercantile Exchange (NYMEX : CME Group)	原油、石油製品、天然ガス、石炭、 石化製品、粗糖、コーヒー、綿花
Commodity Exchange (COMEX : CME Group)	金、白金、銀、銅
Chicago Mercantile Exchange (CME : CME Group)	生牛、豚腹肉、幼牛
ICE Futures U.S. (Intercontinental Exchange)	コーヒー、綿花、粗糖
ICE Futures Europe (Intercontinental Exchange)	原油、石油製品
Shanghai International Energy Exchange (INE)	原油、低硫黄燃料油、ゴム、銅
Singapore Exchange (SGX)	ゴム、鉄鉱石、石炭、原油、石化製品、 天然ガス、金、電力
Bursa Malaysia Derivatives (BMD)	ヤシ油各種

ハ. 国内商品市場における取引を行う業務

自己の計算において商品市場における取引を行う業務であります。自己売買業務は上記イ及びロに掲げた商品において行っております。

(b) 兼業業務（2022年7月1日現在）

米穀取扱事業者、金の現物売買

第一種金融商品取引業（大阪取引所 商品関連市場デリバティブ取引）

③ 営業所、事務所の状況 (2022年3月31日現在)

店舗の名称	所在地
本店	東京都中央区日本橋小網町12番5号
大阪支店	大阪府大阪市中央区久太郎町四丁目2番15号

④ 財務の概要 (決算年月：2022年3月期) (単位：千円)

(a) 資本金	1,000,000
(b) 営業収益	1,579,824
(c) 受取手数料	681,232
(d) トレーディング損益	898,592
(e) 経常利益	780,135
(f) 当期純利益	557,986
(g) 純資産額規制比率 (%)	334.9

(注) トレーディング損益には、国内商品市場取引、外国商品市場取引、現物取引等の損益の合計を記載しております。

⑤ 発行済株式総数 1,369,097株 (2022年3月31日現在)

(注) 当社の株式は、非上場であります。

⑥ 上位10位までの株主の氏名等 (2022年3月31日現在)

氏名又は名称	保有株式数(株)	割合(%)
岡地ホールディングス株式会社	1,247,981	91.2
岡地 将 希	44,678	3.3
岡地 遼 太	30,000	2.2
岡地 莉 奈	23,500	1.7
横井 絵 美 子	13,740	1.0
岡地 明 日 香	3,500	0.3
岡地 橙 佳	3,500	0.3
岡地 修 一	1,198	0.1
岡地 和 道	1,000	0.1
合計 9名	1,369,097	100.0

⑦ 役員の状況

(2022年3月31日現在)

役職名	氏名
代表取締役社長	岡 地 和 道
専務取締役 (投資相談本部長、オンライン事業部担当)	岡 地 修 一
取締役 (本店長、管理本部長、経理本部長、電算業務部長、広報部長、総務人事部担当)	近 藤 益 生
取締役 (国際法人本部長、エネルギー本部長、トレーディング事業部長)	大 木 太 朗
取締役 (エネルギー副本部長)	橋 本 和 典
取締役 (海外事業統括本部長)	矢ヶ崎 成 人
監査役 (非常勤)	山 内 廣 司
監査役 (非常勤)	岡 地 典 子
計	8名

⑧ 役員及び使用人の数

(2022年3月31日現在)

	役員	使用人	合計
総 数	8名	67名	75名
(うち外務員数)	(4名)	(55名)	(59名)

(注) 使用人等は就業人員数により記載しております。

2. 営業の状況

① 営業の経過及び成果

当期における当社の受取手数料及びトレーディング損益並びに売買高の内訳は下記のとおりです。

(1) 受取手数料部門

国内市場全体の総出来高は大阪取引所（貴金属・ゴム・農産物市場）1,323万枚（前年度比+0.2%）、東京商品取引所（エネルギー市場）368万枚（前年度比-41.0%）と総合取引所の開設による出来高の増加が期待されていましたが、現在のところ期待された程の効果は表れていない中、当社では、名古屋本社を廃止し東京本店、大阪支店の2拠点体制とすることで人員、資産の集中強化を行い法令に則った営業活動の強化、新規開拓に向けた新たな戦略、将来に繋がる体制の整備並びに収益構造の更なる多角化を目指し、顧客資産の拡大に取り組んでまいりました。その結果令和3年度の営業収益は1,579百万円、受取手数料は681百万円となりました。

(a) 国内商品市場取引	681,232千円
(b) 外国商品市場取引	0千円
(c) 店頭デリバティブ取引	0千円

(2) トレーディング部門

トレーディング部門につきましては、国内商品市場では2,037,531千円、外国商品市場では△1,288,575千円となりました。尚、店頭デリバティブ取引及び外国為替取引の実績はありませんでした。

(a) 国内商品市場取引	2,037,531千円
(b) 外国商品市場取引	△1,288,575千円
(c) 店頭デリバティブ取引	0千円
(d) 外国為替取引	0千円
(e) 現物取引	149,635千円

(3) 売買高

(単位：枚)

商品市場名	第72期		
	自 2021年4月 1日 至 2022年3月 31日		
期別	委託	自己	合計
農産物・砂糖市場	90,438	244	90,682
貴金属市場	628,697	455,128	1,083,825
ゴム市場	164,263	55,574	219,837
エネルギー市場	274,233	487,346	761,579
中京石油市場	7,083	4,419	11,502
原油市場	5,198	2,666	7,864
合計	1,169,912	1,005,377	2,175,289

(注) 受渡しによる決済数量は含まれておりません。

②取引開始基準

商品デリバティブ取引開始基準（対面取引）

岡地株式会社

当社は、商品デリバティブ取引の契約を締結するにあたり、お客様の投資目的や投資経験、知識、金融資産等の実情に適した取引を行っていただくため、取引開始基準を次の通り定めております。

1. 次の各号に該当するお客様は、当社でのお取引をお断りしております。

- (1) 未成年者、成年被後見人、被保佐人、被補助人、精神障害者、知的障害者および認知障害の認められる方。
- (2) 生活保護法による保護を受けている世帯に属する方。
- (3) 破産者で復権を得ない方。
- (4) 商品デリバティブ取引をするための借入れをしようとされる方。
- (5) 損失又は委託者証拠金の額を上回る損失が生ずるおそれのある取引を望まない方。
- (6) マネーロンダリング及びテロ資金供与に係る疑いがある方。
- (7) 反社会的勢力に該当される方。
- (8) その他商品デリバティブ取引を行う適格性に欠けると認められる方。

2. 次の各号に該当されるお客様につきましては、当社が定める審査基準に適合した場合にのみお取引が可能となります。

- (1) 給与所得等の定期的所得以外の所得である年金、恩給、退職金、保険金等の収入が収入全体の過半を占めている方。
- (2) 一定（年間500万円）以上の収入を有しない方。
- (3) 投資可能資金額を超える損失を発生させる可能性の高い取引を行おうとする方。
- (4) 年齢75歳以上の高齢者の方。
- (5) デリバティブ取引の経験がない方。ただし、商品取引所の受託契約準則に定める損失限定取引の勧誘は除く。
- (6) 「銀行、郵便局、信用金庫、信用組合、証券会社、生保、損保会社、信販会社、ファイナンス会社、リース会社、消費者金融」、「国、地方公共団体（農業、漁業の協同組合）その他公益機関」及び民間企業等において直接又は間接的に金銭、有価証券等の取扱いに係わる方。

3. 当社における審査の結果、お客様との契約締結を承諾しなかった場合、その審査結果及び理由につきましては、いかなる場合においても開示しないものとします。

以上

商品デリバティブ取引開始基準（オンライン取引）

岡地株式会社

当社は、商品デリバティブ取引の契約を締結するにあたり、お客様の投資目的や投資経験、知識、金融資産等の実情に適した取引を行っていただくため、取引開始基準を次の通り定めております。

1. 次の各号に該当するお客様は、当社でのお取引をお断りしております。
 - (1) 未成年者、成年被後見人、被保佐人、被補助人、精神障害者、知的障害者および認知障害の認められる方。
 - (2) 生活保護法による保護を受けている世帯に属する方。
 - (3) 破産者で復権を得ない方。
 - (4) 商品デリバティブ取引をするための借入れをしようとされる方。
 - (5) 損失又は委託者証拠金の額を上回る損失が生ずるおそれのある取引を望まない方。
 - (6) マネーロンダリング及びテロ資金供与に係る疑いがある方。
 - (7) 反社会的勢力に該当される方。
 - (8) その他商品デリバティブ取引を行う適格性に欠けると認められる方。

2. 次の各号に該当されるお客様につきましては、当社が定める審査基準に適合した場合にのみお取引が可能となります。
 - (1) 給与所得等の定期的所得以外の所得である年金、恩給、退職金、保険金等の収入が収入全体の過半を占めている方。
 - (2) 「銀行、郵便局、信用金庫、信用組合、証券会社、生保、損保会社、信販会社、ファイナンス会社、リース会社、消費者金融」、「国、地方公共団体（農業、漁業の協同組合）その他公益機関」及び民間企業等において直接又は間接的に金銭、有価証券等の取扱いに係わる方。

3. 当社における審査の結果、お客様との契約締結を承諾しなかった場合、その審査結果及び理由につきましては、いかなる場合においても開示しないものとします。

以上

③顧客数

顧客数 1, 365名 (2022年3月31日現在)

3. 経理の状況

① 貸借対照表

貸借対照表
(2022年3月31日現在) (単位：千円)

科目 (資産の部)	金額	科目 (負債の部)	金額
【流動資産】	23,288,918	【流動負債】	22,377,504
現金及び預金	1,961,955	短期借入金	3,700,000
預託金	40,000	1年内返済予定長期借入金	300,000
委託者未収金	250,297	未払金	813,894
有価証券	15,719	未払費用	155,933
保管有価証券	1,706,361	未払法人税等	218,000
委託者先物取引差金	306,527	前受金	8,899
商品	753,407	受渡に係る預り金	5,978
未収入金	925,896	預り金	1,124,655
短期差入保証金	17,148,209	預り委託証拠金	16,050,140
その他の流動資産	194,321		
貸倒引当金	△ 13,779		
【固定資産】	19,531,332	【固定負債】	4,324,834
(有形固定資産)	247,362	長期預り保証金	72,876
建物	66,129	退職給付引当金	105,253
車両運搬具	20,178	繰延税金負債	485,614
器具備品	86,782	資産除去債務	6,837
土地	74,271	その他引当金	586,252
		長期借入金	3,068,000
(無形固定資産)	56,962		
ソフトウェア	54,606	【特別法上の準備金】	73,036
電話加入権	2,355	商品取引責任準備金	71,870
		金融取引責任準備金	1,165
(投資その他の資産)	19,227,008	負債合計	26,775,374
投資有価証券	13,747,087		
関係会社株式	523,867	(純資産の部)	
長期貸付金	4,771,270	【株主資本】	14,895,941
長期預け金	62,005	資本金	1,000,000
長期差入保証金	96,864		
長期未収入金	1,366,472	利益剰余金	13,895,941
その他の投資	60,134	利益準備金	250,000
貸倒引当金	△ 1,400,693	その他利益剰余金	13,645,941
		別途積立金	10,000,000
		繰越利益剰余金	3,645,941
		【評価・換算差額等】	1,148,933
		その他有価証券評価差額金	1,148,933
		純資産合計	16,044,875
資産合計	42,820,250	負債・純資産合計	42,820,250

② 損益計算書

損益計算書
自2021年4月1日
至2022年3月31日

(単位：千円)

科 目	金	額
営業収益		
受取委託手数料	681,232	
売買損益	898,592	1,579,824
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,528,193	1,528,193
営業利益		51,630
営業外収益	782,535	782,535
営業外費用	54,030	54,030
經常利益		780,135
特別損失		
支店閉鎖費用	22,408	
抱合せ株式消滅差損	13,006	35,414
税引前当期純利益		744,720
法人税、住民税及び事業税	198,861	
法人税等調整額	△ 12,128	186,733
当期純利益		557,986

③ 株主資本等変動計算書

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

(単位：千円)

	株 主 資 本							評価・ 換算 差額等	純 資 産 合 計
	資 本 金	利 益 剰 余 金				自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	其 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	
		其 他 利 益 剰 余 金		利 益 剰 余 金 合 計					
		別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金						
当期首残高	1,000,000	250,000	10,000,000	6,305,836	16,555,836	△ 3,190,499	14,365,337	1,068,422	15,433,759
当期変動額									
剰余金の配当				△ 27,381	△ 27,381		△ 27,381		△ 27,381
当期純利益				557,986	557,986		557,986		557,986
自己株式の償却				△ 3,190,499	△ 3,190,499	3,190,499			
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)								80,511	80,511
当期変動額合計	—	—	—	△ 2,659,895	△ 2,659,895	3,190,499	530,604	80,511	611,116
当期末残高	1,000,000	250,000	10,000,000	3,645,941	13,895,941	—	14,895,941	1,148,933	16,044,875

④ 個別注記表

【重要な会計方針】

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社及び関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法

但し、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は、次のとおりであります。

建物	15年～50年
車両運搬具	6年
器具備品	5年～20年

(2) 無形固定資産

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4. 引当金及び特別法上の準備金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、自己都合期末要支給額から中小企業退職金共済制度により支給される金額の見込額を控除した額を計上しております。

(3) 商品取引責任準備金

商品先物取引等の受託などに係る事故による委託者の損失に備えるため、商品先物取引法第221条の規定に基づき、同施行規則に定める額を計上しております。

(4) 金融商品取引責任準備金

金融商品取引等の受託などに係る事故による委託者の損失に備えるため、金融商品取引法第46条の5の規定に基づき、同内閣府令第175条に定める額を計上しております。

5. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

受取委託手数料

委託者からインターネットを通じて注文を受託する取引においては、約定からポジション決済までの一連の契約となっております。当該取引については、顧客から受託した注文及びポジションの決済指示を適正に処理することを履行義務としており、ポジションの決済時点で履行義務の充足を認識しております。

委託者から対面で注文を受託する取引においては、約定、ポジション決済それぞれでの契約となっております。当該取引については、顧客から受託した注文を適正に処理すること、決済指示を適正に処理することを履行義務としており、それぞれ約定時点、ポジションの決済時点で履行義務の充足を認識しております。

現物取引に係る売買損益

現物商品について売り手及び買い手を結び付け取引を成立させることを履行義務としており、当該取引成立時点で履行義務の充足を認識しております。

【会計方針の変更に関する注記】

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、収益認識会計基準等の適用による計算書類に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第 30 号 2019 年 7 月 4 日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第 19 項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第 10 号 2019 年 7 月 4 日）第 44-2 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。

なお、計算書類に与える影響はありません。

【貸借対照表に関する注記】

1. 担保に供している資産及び担保に係る債務

(1) 担保資産

(単位:千円)

担保に供している資産		担保に係る債務	
種類	期末残高	種類	期末残高
現金	40,000	短期借入金	3,200,000
定期預金	200,000	1年内返済予定の長期借入金	300,000
投資有価証券	5,886,978	長期借入金	1,270,000
計	6,126,978	計	4,770,000

(2) 預託資産

取引証拠金の代用として、次の資産を(株)日本商品清算機構へ預託しております。

	保管有価証券	1,706,361 千円
	投資有価証券	487,710 千円
2. 有形固定資産の減価償却累計額		758,632 千円
3. 関係会社に対する金銭債権及び債務	短期金銭債権	35,789 千円
	長期金銭債権	4,769,000 千円
	短期金銭債務	80,124 千円
	長期金銭債務	1,798,000 千円

【損益計算書に関する注記】

1. 関係会社との取引高

営業取引による取引高

支払家賃	48,112 千円
派遣料及び出向者給与	143,226 千円

営業取引以外の取引による取引高

受取利息及び配当金	12,854 千円
支払利息	4,591 千円

【株主資本等変動計算書に関する注記】

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式	1,369,097 株
------	-------------

2. 自己株式の種類及び株式数

株式の種類	当事業年度期首株式数	増加	減少	当事業年度末株式数
普通株式	432,303 株	—	432,303 株	—

3. 配当に関する事項

(1) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年 6月24日 定時株主総会	普通株式	27,381	20	2021年 3月31日	2021年 6月25日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
令和4年6月22日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次の
とおり提案しております。

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年 6月22日 定時株主総会	普通株式	903,604	660	2022年 3月31日	2022年 6月23日

【税効果会計に関する注記】

1. 繰延税金資産の発生の主な原因は、賞与引当金、未払事業税等であり、繰越税金負債の発生の
主な原因は、その他有価証券評価差額であります。

【金融商品に関する注記】

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、商品先物取引業を営んでおり、商品先物取引を行うため、商品先物取引法に定める商品取引所の会員資格及び取引参加資格を取得し、商品取引所に上場されている商品を対象に自己の計算において行う商品先物取引（自己ディーリング業務）を行っております。また、保有現物商品（貴金属商品、石油商品等）の価格変動のリスクをヘッジする目的及び現物商品を取得するために利用しています。また、余剰資金の運用手段としては、主として定期預金及び公社債の取得によっております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2022年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	1,961,955	1,961,955	—
(2) 委託者未収金	255,019	255,019	—
(3) 有価証券	15,719	15,719	—
(4) 保管有価証券	1,706,361	1,706,361	—
(5) 委託者先物取引差金	306,527	306,527	—
(6) 未収入金	925,896	925,896	—
	5,171,477	5,171,477	—
(7) 短期差入保証金	17,148,209	17,148,209	—
(8) 投資有価証券	14,143,156	14,143,156	—
(9) 長期貸付金	4,771,270	4,771,270	—
	36,062,635	36,062,635	—
(10) 長期差入保証金	96,864	84,301	△12,563
(11) 長期未収入金	1,366,472	1,366,472	—
貸倒引当金(*)	△1,400,693	△1,400,693	—
	62,643	50,080	△12,563
資産計	41,296,755	41,284,192	△12,563
(1) 短期借入金	3,700,000	3,700,000	—
(2) 1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000	—
(3) 未払金	813,894	813,894	—
(4) 預り金	1,124,655	1,124,655	—
(5) 預り委託証拠金	16,050,140	16,050,140	—
(6) 長期借入金	3,068,000	3,068,000	—
負債計	25,056,689	25,056,689	—

(*)個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資 産

- (1) 現金及び預金、(2) 委託者未収金、(5) 委託者先物取引差金及び(7) 短期差入保証金
これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
- (3) 有価証券及び(8) 投資有価証券
これらの時価については、株式は取引所の価格によっており、債券等は取引所の価格又は取引金融機関等から提示された価格によっております。
- (4) 保管有価証券
この時価については、商品先物取引の預り証拠金代用有価証券として預託を受けたもので、商品先物取引法施行規則第39条の規定に基づく充用価格によっております。
- (6) 未収入金、(9) 長期貸付金及び(11) 長期未収入金
貸倒引当金を信用リスクとみなし、時価を算定しております。
- (10) 長期差入保証金
これらの時価については、一定の期間ごとに分類し、その将来キャッシュ・フローを国債の利回り等で割り引いた現在価値により算定しております。

負 債

- (1) 短期借入金、(3) 未払金及び(4) 預り金
これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
- (2) 1年内返済予定の長期借入金及び(6) 長期借入金
変動金利の長期借入金は、短期間で市場金利を反映していることから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。
- (5) 預り委託証拠金
商品先物取引の預り証拠金時価として、現金での預託を受けたものについては、預託額を時価とみなしており、また預り証拠金代用有価証券として預託を受けたものについては、商品先物取引法施行規則第39条の規定に基づく充用価格によっております。

(注2) 市場価格のない株式等は「(8) 投資有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。なお、非上場株式には関係会社株式が含まれております。

(単位：千円)

区分	当事業年度
非上場株式	143,289

【関連当事者との取引に関する注記】

(1) 親会社及び法人主要株主等

(単位：千円)

種類	会社等の名称	議決権の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注2)	科目	期末残高(注2)
親会社	岡地ホールディングス株式会社	被所有 直接 (91.1)	資金の貸付 役員の兼任	資金の返済	100,600	長期貸付金	665,000
				利息の受取(注1)	1,876	未収入金	29,582
親会社	オカチキャピタル株式会社	被所有 間接 (91.1)	資金の貸付 役員の兼任	資金の貸付(注1) 利息の受取(注1)	244,000 8,865	長期貸付金	3,604,000

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 資金の貸付利率については、市場金利を勘案して決定しております。また、返済条件については資金状況に応じて返済を受けることとしております。なお、担保は受け入れておりません。

(注2) 取引金額及び期末残高には消費税等は含まれておりません。

(2) 子会社及び関連会社等

(単位：千円)

種類	会社等の名称	議決権の所有(被所有)の割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注2) (注3)	科目	期末残高(注2) (注3)
子会社	Okachi (Hong Kong) Co., Ltd	所有 直接 (100)	資金の借入 役員の兼任	資金の借入(注1)	300,000	長期借入金	398,000
				一時預かり	55,114	預り金	55,114
				出向派遣給与の受取(注2)	15,862		
				利息の支払(注1)	1,047		
	オカチリソース株式会社	所有 直接 (100)	出向者の受入	出向派遣給与の支払(注2)	160,351	—	—
	Okachi Investments (HongKong) Co., Ltd	所有 直接 (100)	資金の借入 役員の兼任	資金の借入(注1) 一時預かり	1,400,000 20,455	長期借入金 預り金	1,400,000 20,455
				利息の支払(注1)	3,510		

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 資金の貸付利率については、市場金利を勘案して決定しております。また、返済条件については資金状況に応じて返済を受けることとしております。なお、担保は受け入れておりません。

(注2) 出向派遣給与については、給与水準及び派遣賃金に関する市場価格を勘案して決定しております。また、当社は2021年10月1日付でオカチリソース株式会社を吸収合併致しました。このため、取引金額は関連当事者であった期間の取引金額を記載しております。

(注3) 取引金額には消費税等は含まれておりません。また、期末残高のうち未払費用以外には消費税等は含まれておりません。

(3) 役員及び個人主要株主等

(単位：千円)

種類	会社等の名称	議決権の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注2)	科目	期末残高(注2)
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社(当該会社の子会社を含む)	岡地商事株式会社	—	不動産の賃借	家賃の支払(注1)	130,152	長期差入保証金 前払費用	35,000 7,500
	進光商事株式会社	—	不動産の賃借	家賃の支払(注1)	18,819	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 近隣の地価及び賃料の相場を勘案して決定しております。

(注2) 取引金額及び期末残高には消費税等は含まれておりません。

【1株当たり情報に関する注記】

1株当たり純資産額	11,719円31銭
1株当たり当期純利益	407円56銭

【収益認識に関する注記】

収益認識に関する注記として記載すべき事項については【重要な会計方針】「5. 収益及び費用の計上基準」に記載しております。

⑤ 監査に関する事項

このディスクロージャー資料のうち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表につきましては、会社法に基づき会計監査人の監査を受けた計算書類と同一の内容です。